

## (12) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

### 一 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日  
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日  
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日  
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日  
昭和57年8月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 3,000,000円  
鳥取県出えん金 1,500,000円  
倉吉市出えん金 500,000円  
湯梨浜町出えん金 500,000円  
三朝町出えん金 250,000円  
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 7人 監 事 2人  
評 議 員 井 土 美智子 (湯梨浜町女性団体連絡協議会副会長)  
〃 佐々木 敬 宗 (倉吉商工会議所専務理事)  
〃 石 田 耕太郎 (倉吉市長)  
〃 松 島 文 子 (学校法人藤田学院鳥取短期大学生生活学  
科教授)  
〃 小 林 綾 子 (鳥取県生活環境部くらしの安心局長)  
理 事 長 長谷川 具 章  
常務理事 長谷川 具 章 (理事長兼務)

理事 宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)  
〃 松 浦 弘 幸 (三朝町長)  
〃 松 本 昭 夫 (北栄町長)  
〃 中 江 亜紀子 (有限会社中江組 代表取締役)  
〃 山 崎 昌 徳 (倉吉市副市長)  
〃 田 中 将 (鳥取県生活環境部くらしの安心局水環境保全課長)

監 事 馬 壁 聰之介

〃 木 天 昌 明 (税理士)

7 職 員 8人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

## 平成 29 年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（平成 26 年度～平成 30 年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理及び水質管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

### 1 天神川流域下水道の管理運營業務

#### (1) 天神浄化センターの運転管理等業務

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設の運転操作・監視及び保守点検等の運転管理並びに水質管理を適正かつ効率的に行い、水処理等に支障をきたす事故もなく、年間を通じて安全・安定的な下水処理を実施した。脱水汚泥は委託により全て堆肥化し有効活用を図った。

流入汚水量は年間 7,541 千 m<sup>3</sup>（日平均 20,662 m<sup>3</sup>）で、中部地震の影響もあり対前年度比 0.8%の増加となったが、脱水汚泥は年間 5,183 トンで、1.8%減少した。更に、経営努力により、電気使用量は 0.6%の減少、塩素滅菌剤使用量は 19.2%削減することができた。

[水処理及び汚泥処理の状況]

##### ① 流入汚水量

計画流入汚水量（日平均 20,038m<sup>3</sup>）に対して、平成 29 年度は次のとおりであった。

日平均	20,662 m <sup>3</sup>
年間合計	7,541,814 m <sup>3</sup>

##### ② 水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	150	3.6	15	98%
浮遊物質 (SS) (mg/l)	120	3.0	40	98%

※ BOD = 生物化学的酸素要求量

##### ③ 汚泥処理の状況

年間脱水汚泥発生量	5,183.6 t
年間脱水汚泥搬出量	5,127.8 t

\* 脱水汚泥は、3 社へ搬出し、全て堆肥化

#### (2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして 3 号送風機、自家用発電設備、ベルト型ろ過濃縮機等の計画的な分解整備（オーバーホール）やハロゲン化物消火設備改修工事等を実施し、故障の未然防止や主要機器類の持続的な機能の確保と長寿命化に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23 箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

### 2 下水道の水質分析等

平成 29 年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町

処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、リアルタイムに現場へ反映させることにより、良好かつ効果的な水質管理に取り組んだ。

水質試験回数	406 回
検体数	23,456 検体

### 3 下水道技術者の養成

下水道事業に携わる自治体職員の実務及び技術の向上を図るため、鳥取県及び日本下水道事業団と共催で下水道事業担当者研修会の開催等を実施した。また、公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に積極的に職員を参加させた。

### 4 下水道技術の調査研究

下水道維持管理技術は年々進歩しており、適切かつ効率的な運転管理と維持管理の実践に向けて課題・テーマを選定し調査研究に取り組んだ。

#### (1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催

毎月1回程度水処理・汚泥処理等検討会を開催し、下水道技術の調査研究及び業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組み、成果の反映を図っている。(14回開催：「公社の中期経営計画について」など。)

#### (2) 第54回下水道研究発表会での職員の研究発表の実施

開催等：東京都（8月）

報告内容：鳥取県中部地震に伴う初動対応と今後の課題について

### 5 下水道知識の普及及び啓発等

#### (1) ホームページでの公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等の随時掲載

#### (2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

##### ア ぐるり水の探険

1市4町の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めた。(7月)

##### イ 第29回下水道コンクール

1市3町の小学校4年生の児童を対象に下水道に関するポスター、習字、標語の作品を募集した。(10月)

##### ウ 下水道ふれあい教室

小学校に職員が出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の顕微鏡観察、水質検査等の授業を実施した。(6月～7月)

##### エ 施設見学者への対応

平成29年度に天神浄化センターの見学に訪れた人数は下記のとおり。今年度は、新たに地域住民向けの見学会を企画し、デイサービス施設等から見学者があった。

年 度	総 数	内 訳		
		一般	学校関係	官公庁関係
平成29年度	643人	53人	477人	113人
平成28年度	315人	3人	297人	15人

### 6 中期経営計画の取組

**(1) 業務の充実・改善**

下水道事業を取り巻く経営環境の変化への対応や下水道維持管理技術の向上等に向けて、「水処理・汚泥処理等検討会」などを開催し、業務の充実・改善を推進した。

次亜塩素酸ナトリウム注入率の見直しによる水質管理の改善、契約電力や電力使用量の低減に向けたエネルギー管理の徹底、植栽管理業務の委託の見直し、天神浄化センター施設見学会のCS（顧客満足度）向上等に取り組んだ。

**(2) 管理運営の効率化**

常にコスト意識を持って一層の管理運営の効率化に、現場主義で実践的に取り組んだ。

**ア 水質管理の改善**

- ・次亜塩素酸ナトリウム注入率の見直しによる減量（3ppm→2～1.5ppm）  
[約▲1,100千円/年]
- ・汚泥処理の脱水性改善による高分子凝集剤の減量（14.0%減量）  
[約▲380千円/年]

**イ エネルギー管理の徹底**

- ・契約電力の見直し（1,150kw→1,050kw）[約▲1,770千円/年]
- ・屋外、場内水銀灯のLED化[約▲150千円/年]
- ・汚泥棟給湯ボイラーの廃止[約▲320千円/年]
- ・再生可能エネルギー賦課金減免措置の適用（減免率80%）  
[約▲11,500千円/年]

**ウ 業務委託の見直し**

- ・脱臭用活性炭交換時期の見直し（毎年→2年に1回）[約▲1,380千円]
- ・修景施設維持管理業務委託の業務内容の見直し（中高木剪定の削減、除草作業の一部直営等） [約▲4,860千円]

**7 その他**

**(1) 指定管理施設運営評価委員会**

指定管理施設について、その管理運営状況を評価するために鳥取県生活環境部指定管理施設運営評価委員会（委員5名）が開催され、これまでの指定管理期間中における管理運営状況について、安全・安心管理や経費節減等の観点から説明を行った。

**(2) 全国下水道公社連絡協議会**

全国下水道公社連絡協議会の当番県として、講演、各県公社から提案のあった議題について協議等を行った。（10月）

**(3) 防災訓練等**

平成28年度に消防計画を見直して、火災以外に、地震、その他の災害を想定した消防訓練7月に、災害停電時の復旧作業等の総合訓練を12月に実施した。

**(4) 人権教育の研修会**

職員の人権意識の高揚、人権感覚を身につけ向上させるため、人権啓発推進員研修会の受講及び全職員対象の研修会を開催した。

## 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	750	750	0	
基本財産受取利息	750	750	0	
事業収益	521,157,272	491,756,430	29,400,842	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	521,157,272	491,756,430	29,400,842	
雑収益	153	224	△ 71	
受取利息	153	224	△ 71	
経常収益計	521,158,175	491,757,404	29,400,771	
(2) 経常費用				
事業費	502,882,307	474,609,572	28,272,735	
役員報酬	4,149,991	4,827,653	△ 677,662	
給料手当	32,201,842	33,712,590	△ 1,510,748	
退職給付掛金	1,656,000	1,980,000	△ 324,000	
福利厚生費	5,749,565	5,146,433	603,132	
会議費	8,200	17,380	△ 9,180	
旅費交通費	402,190	262,615	139,575	
通信運搬費	345,384	345,471	△ 87	
消耗品費	16,307,203	22,117,730	△ 5,810,527	
修繕費	114,810,097	90,325,714	24,484,383	
印刷製本費	639,362	312,185	327,177	
燃料費	967,138	706,977	260,161	
光熱水料費	65,935,701	65,330,394	605,307	
賃借料	2,602,519	810,327	1,792,192	
保険料	2,601	14,661	△ 12,060	
手数料	173,184	98,590	74,594	
租税公課	4,248,778	4,377,351	△ 128,573	
委託費	252,596,452	244,133,501	8,462,951	
負担金	86,100	90,000	△ 3,900	
管理費	17,976,412	17,839,465	136,947	
役員報酬	1,036,898	1,206,912	△ 170,014	
給料手当	7,765,943	7,334,505	431,438	
退職給付掛金	504,000	360,000	144,000	

## (12) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,423,072	1,352,101	70,971	
会議費	0	6,000	△ 6,000	
旅費交通費	261,955	247,385	14,570	
通信運搬費	318,576	321,343	△ 2,767	
消耗品費	934,356	1,031,597	△ 97,241	
修繕費	80,935	126,456	△ 45,521	
印刷製本費	121,100	88,992	32,108	
燃料費	311,175	560,735	△ 249,560	
光熱水料費	1,623,125	1,615,164	7,961	
賃借料	563,743	399,654	164,089	
保険料	97,680	124,870	△ 27,190	
諸謝金	272,200	302,800	△ 30,600	
手数料	289,872	305,882	△ 16,010	
租税公課	332,922	191,849	141,073	
委託費	1,804,680	2,021,760	△ 217,080	
負担金	234,180	241,460	△ 7,280	
経常費用計	520,858,719	492,449,037	28,409,682	
当期経常増減額	299,456	△ 691,633	991,089	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	299,456	△ 691,633	991,089	
一般正味財産期首残高	2,967,065	3,658,698	△ 691,633	
一般正味財産期末残高	3,266,521	2,967,065	299,456	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	6,266,521	5,967,065	299,456	

## 正味財産増減計算書内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	750			750
基本財産受取利息	750			750
事業収益	503,180,860	17,976,412		521,157,272
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	503,180,860	17,976,412		521,157,272
雑収益	153			153
受取利息	153			153
経常収益計	503,181,763	17,976,412	0	521,158,175
(2) 経常費用				
事業費	502,882,307			502,882,307
役員報酬	4,149,991			4,149,991
給料手当	32,201,842			32,201,842
退職給付掛金	1,656,000			1,656,000
福利厚生費	5,749,565			5,749,565
会議費	8,200			8,200
旅費交通費	402,190			402,190
通信運搬費	345,384			345,384
消耗品費	16,307,203			16,307,203
修繕費	114,810,097			114,810,097
印刷製本費	639,362			639,362
燃料費	967,138			967,138
光熱水料費	65,935,701			65,935,701
賃借料	2,602,519			2,602,519
保険料	2,601			2,601
手数料	173,184			173,184
租税公課	4,248,778			4,248,778
委託費	252,596,452			252,596,452
負担金	86,100			86,100
管理費		17,976,412		17,976,412
役員報酬		1,036,898		1,036,898
給料手当		7,765,943		7,765,943
退職給付掛金		504,000		504,000

## (12) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,423,072		1,423,072
会議費		0		0
旅費交通費		261,955		261,955
通信運搬費		318,576		318,576
消耗品費		934,356		934,356
修繕費		80,935		80,935
印刷製本費		121,100		121,100
燃料費		311,175		311,175
光熱水料費		1,623,125		1,623,125
賃借料		563,743		563,743
保険料		97,680		97,680
諸謝金		272,200		272,200
手数料		289,872		289,872
租税公課		332,922		332,922
委託費		1,804,680		1,804,680
負担金		234,180		234,180
経常費用計	502,882,307	17,976,412	0	520,858,719
当期経常増減額	299,456	0	0	299,456
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	378,901	△ 79,445	0	299,456
一般正味財産期首残高	2,767,523	199,542	0	2,967,065
一般正味財産期末残高	3,146,424	120,097	0	3,266,521
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	6,146,424	120,097	0	6,266,521

## 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	32,893,903	30,037,719	2,856,184
未収金	13,238	52,789	△ 39,551
貯蔵品	3,266,521	2,967,065	299,456
流動資産合計	36,173,662	33,057,573	3,116,089
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	39,173,662	36,057,573	3,116,089
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	599,342	210,970	388,372
未払金	32,307,799	29,879,538	2,428,261
流動負債合計	32,907,141	30,090,508	2,816,633
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	32,907,141	30,090,508	2,816,633
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	3,266,521	2,967,065	299,456
正味財産合計	6,266,521	5,967,065	299,456
負債及び正味財産合計	39,173,662	36,057,573	3,116,089

## 財務諸表に対する注記

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

## 2. 重要な会計方針

(1) 平成20年公益法人会計基準(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府 公益認定等委員会)を適用している。

(2) 棚卸資産(貯蔵品)について

棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。

(3) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 3. 会計方針の変更

該当なし

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

## 6. 担保に供している資産

該当なし

## 7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

## 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

## 9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
該当なし

12. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし

13. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

14. 重要な後発事象  
該当なし

15. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位:円)

品名	当期末残高
補修用部品	1,598,130
業務用薬品	379,476
材料	677,321
焼却、自家発等燃料	491,497
切手、収入印紙	120,097
合計	3,266,521

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社  
財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	32,893,903
未収金			
貯蔵品	鳥取県労働基準協会 中部支部	労働保険料過払額	13,238
	補修用部品	脱水機用濾布として	1,598,130
	業務用薬品 (高分子凝集剤、次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他)	運転管理等に伴う年度末の在庫として	379,476
	材料 (ろ過砂、ケイ砂)	砂ろ過設備、焼却設備の材料として	677,321
	A重油	焼却設備、自家発、給湯ボイラー燃料として	491,497
	切手、収入印紙	郵送、契約書用として	120,097
流動資産合計			36,173,662
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			39,173,662
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する維持管理業務委託返納金未払他	32,307,799
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税、健康保険料預り金	599,342
流動負債合計			32,907,141
(固定負債)			
			0
固定負債合計			0
負債合計			32,907,141
正味財産			6,266,521

## 附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細  
基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

**平成 30 年度事業計画****I 基本方針**

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（平成 26 年度～30 年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

平成 30 年度は、現行指定管理期間の最終年となり、中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

**II 事業内容****1. 天神川流域下水道の運転管理及び施設の維持管理業務【517,267 千円】****(1) 天神浄化センター運転管理等業務【109,883 千円】**

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 水質試験等で下水処理状況を日々把握することで、水処理悪化等に対する迅速な対応や水処理技術等の更なる改善に努める。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検は外部委託で実施しており、相互連携の下で適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

## ・計画流入汚水量

平成 30 年度	平成 29 年度（実績）
7,313,250 m <sup>3</sup> (日平均 20,050 m <sup>3</sup> )	7,541,814 m <sup>3</sup> (日平均 20,662 m <sup>3</sup> )

## ・放流水質管理目標

BOD (mg/ℓ)	浮遊物質(SS) (mg/ℓ)	大腸菌群数(個/cm <sup>3</sup> )
10 未満	10 未満	30 未満

※ BOD = 生物化学的酸素要求量

## ・計画汚泥処理量

平成 30 年度	平成 29 年度（実績）
5,100t	5,183.6t

**(2) 施設の維持管理業務【407,384 千円】**

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）を実施し、予防保全により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、業務委託の見直しなど継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

## ・維持管理施設

対象施設	・天神浄化センター（処理能力 32,000m <sup>3</sup> /日）
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠</li> <li>・処理分区流量計測設備（23 箇所）</li> <li>・若土ポンプ場</li> </ul>
--	---

・主要機器類の分解整備【83,113 千円】

6号主ポンプ、ベルトプレス脱水機、ケーキ貯留サイロ、水中エアレータ他

## 2. 下水道の水質分析等【2,194 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、リアルタイムに現場へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

## 3. 下水道技術者の養成【180 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。

○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等へ参加し、現場実務に反映させる。

## 4. 下水道技術の調査研究【359 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。

○7月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に出席して、下水道技術の情報を収集する。

## 5. 下水道知識の普及及び啓発等【674 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。

○ホームページに下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。

○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的とした「ぐるり水の探検」を開催する。

○「下水道コンクール」として、関連公共1市3町の小学校4年生の児童から、ポスター、習字、標語の作品を募集する。

○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

## 6. その他公社の目的を達成するために必要な事業

## 収 支 予 算 書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	539,175	554,627	△ 15,452	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	539,175	554,627	△ 15,452	
雑収益	2	2	0	
受取利息	2	2	0	
経常収益計	539,178	554,630	△ 15,452	
(2) 経常費用				
事業費	520,674	535,134	△ 14,460	
役員報酬	4,150	4,150	0	
給料手当	32,708	33,786	△ 1,078	
退職給付掛金	1,656	1,656	0	
福利厚生費	6,012	6,160	△ 148	
会議費	11	11	0	
旅費交通費	489	489	0	
通信運搬費	346	346	0	
消耗品費	19,166	20,550	△ 1,384	
修繕費	147,177	118,553	28,624	
印刷製本費	470	497	△ 27	
燃料費	845	765	80	
光熱水料費	72,485	71,731	754	
賃借料	1,248	922	326	
保険料	16	16	0	
手数料	178	195	△ 17	
租税公課	4,543	4,738	△ 195	
委託費	229,123	270,445	△ 41,322	
負担金	51	124	△ 73	
管理費	18,504	19,496	△ 992	
役員報酬	1,037	1,037	0	
給料手当	8,104	8,080	24	
退職給付掛金	504	504	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,521	1,501	20	
会議費	9	15	△ 6	
旅費交通費	283	613	△ 330	
通信運搬費	330	330	0	
消耗品費	743	1,075	△ 332	
修繕費	165	115	50	
印刷製本費	88	100	△ 12	
燃料費	283	261	22	
光熱水料費	1,825	1,840	△ 15	
賃借料	417	535	△ 118	
保険料	116	98	18	
諸謝金	313	313	0	
手数料	305	309	△ 4	
租税公課	310	330	△ 20	
委託費	1,925	2,125	△ 200	
負担金	226	315	△ 89	
経常費用計	539,178	554,630	△ 15,452	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	3,300	2,815	485	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	3,300	2,815	485	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	6,300	5,815	485	

## 収支予算書内訳表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	520,671	18,504		539,175
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	520,671	18,504		539,175
雑収益	2			2
受取利息	2			2
経常収益計	520,674	18,504	0	539,178
(2) 経常費用				
事業費	520,674			520,674
役員報酬	4,150			4,150
給料手当	32,708			32,708
退職給付掛金	1,656			1,656
福利厚生費	6,012			6,012
会議費	11			11
旅費交通費	489			489
通信運搬費	346			346
消耗品費	19,166			19,166
修繕費	147,177			147,177
印刷製本費	470			470
燃料費	845			845
光熱水料費	72,485			72,485
賃借料	1,248			1,248
保険料	16			16
手数料	178			178
租税公課	4,543			4,543
委託費	229,123			229,123
負担金	51			51
管理費		18,504		18,504
役員報酬		1,037		1,037
給料手当		8,104		8,104

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
退職給付掛金		504		504
福利厚生費		1,521		1,521
会議費		9		9
旅費交通費		283		283
通信運搬費		330		330
消耗品費		743		743
修繕費		165		165
印刷製本費		88		88
燃料費		283		283
光熱水料費		1,825		1,825
賃借料		417		417
保険料		116		116
諸謝金		313		313
手数料		305		305
租税公課		310		310
委託費		1,925		1,925
負担金		226		226
経常費用計	520,674	18,504	0	539,178
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,210	90	0	3,300
一般正味財産期末残高	3,210	90	0	3,300
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	3,210	3,090	0	6,300